

Vacuum Tube Phono Stage Preamp

Rhea Signature

MCフォノステージ
リーア

¥ 980,000(税別)



最高のアナログ再生のために設計されたRhea(リーア)は、その優れた音質と使いやすさから、発売以来約8年ほど経過しておりますが不動の人気を誇る超ロングセラーモデルです。エステイクス独自のオール真空管回路により、高い音楽性とハイクオリティな音質が特徴ですが、そのRheaがRhea Signature(リーアシグネチャー)としてモデルチェンジしました。

■ポリプロピレン製のコンデンサーから、エステイクスがRhea Signatureのために特注したテフロン製ハイブリッドカップリングコンデンサーを第2ステージ、第3ステージと第3ステージ、第4ステージの間に投入。解像度と情報量が格段に向上しています。また、第1ステージと第2ステージの間の2uFカップリングコンデンサーは4uFの特注Peter Moncrief製Dynamicapコンデンサーに変更。低域の力感の向上に寄与しています。同様に2uFの出力カップリングコンデンサーも4uFのDynamicaplに変更され、ドライブ能力と低域の分解能の向上、さらには微小信号における正確な音楽再現性に貢献しています。

■5つのゴム製の脚は、エステイクスが特注したHRS(ハーモニック・レゾリューションズ・システムズ)製のインシュレーターに変更。S/Nが向上し、空間再現能力が大幅にアップしています。

■Rhea Signatureは各社の多くのプリアンプと自在に組み合わせて、遺憾なく高い能力を発揮する単体のフォノアンプです。さらに当社のラインナップ Calypsoとの組み合わせでは、ベストマッチぶりをして最高のアナログ再生を満喫させるものです。

■入力3系統装備で複数のピックアップ使用に対応。この各入力にゲインと負荷抵抗が単独設定できます。ゲインは38dB~75dBまで7段階のセレクトで、小出力のMC型カートリッジから大出力のMM型カートリッジにまで対応。さらに負荷抵抗も75Ω~47kΩまで9段階の設定が可能です。

■オーディオ回路はすべて管球式で10本の真空管を採用。真空管が絶対との意味はなく、例えばコントロール回路には操作時のみ動作するマイクロプロセッサ導入など、設計理念でもある適材適所の柔軟な設計姿勢に基づくものです。

■オーディオ回路と同等に重要視しているのが電源部です。トランスはすべて音質重視のEコアを採用し、しかもチョークコイルの搭載でACノイズも低減させています。

■ピックアップ系の有害な帯磁を自動的に除去する、ディマグネタイザー機能を装備しています。

Rhea Specifications

■ 入力	シングルエンド(RCA) × 3
■ 出力	シングルエンド(RCA) × 2、バランス(XLR) × 2
■ ゲイン切替	75、68、62、56、50、44、38(dB) or off
■ ロード調整	47k、10k、5k、2.5k、1k、500、250、125、75(Ω)
■ 再生周波数	+/-0.25dB、20Hz~20kHz
■ 消費電力	20watts(standby)、100watts(active)
■ 最大外形寸法・重量	455(W) × 460(D) × 108(H)mm 17.5kg リモコン付属

Vacuum Tube Line Stage Preamp

Calypso

ラインステージプリアンプ
カリプソ

¥ 850,000(税別)



Calypsoは厳しく音質を追及した、真空管回路によるライン入力専用プリアンプです。フォノアンプRheaとのベストマッチは当然として、他のCDプレーヤーなど入力機器の能力をフルに引き出し、そのすべてをパワーンプに送り込むのです。

■本機のオーディオ回路は、高性能と音楽性の両面から厳しく検討を加えた結果、増幅段/出力段とも回路デバイスには真空管を採用。合計4本の厳選した12AX7WBと6922/6DJ8が、その重要な役割を担っています。

■回路設計は全段完全バランス構成とし、TAPE入力1系統を含む計6系統の入力は、すべてバランス端子(XLR)とアンバランス端子(RCA)を装備。ここでのアンバランス入力信号も、内部でまずバランス信号に変換してから増幅されます。

■音量はディスプレイ上にデジタル数値で表示されますが、コントロールは1dBステップ/66段切替えの高精度ディスクリット抵抗による、アナログボリュームコントロールでおこなわれます。

■ボリュームコントロールをはじめ各コントロール回路は、マイクロプロセッサによって制御されています。このプロセッサ回路は操作時のみ動作し、通常は回路自体がまったく動作しないため、再生音に影響を与える心配は皆無です。

■エステイクスのアンプはすべて電源重視の設計。本機でも、トランスはEコアを採用し、しかも飛躍的に安定度を高める贅沢なチョークインプット方式です。

■2系統の出力も、それぞれバランス端子(XLR)とアンバランス端子(RCA)を装備です。

■音量調整や入力切替えなど、すべての操作がおこなえるリモコン付属。

Calypso Specifications

■ 入力	シングルエンド(RCA) × 6またはバランス(XLR) × 6
■ 出力	シングルエンド(RCA) × 2またはバランス(XLR) × 2 テーブアウト:シングルエンド(RCA) × 1
■ 入力インピーダンス	40kΩ(シングルエンド)、80kΩ(バランス)
■ 再生周波数	+/-0.25dB、20Hz~20kHz
■ 消費電力	20watts(standby)、100watts(active)
■ 最大外形寸法・重量	455(W) × 460(D) × 108(H)mm 17.5kg リモコン付属

Hybrid Stereo Power Amplifier

Atlas

ハイブリッドパワーアンプ

アトラス

¥1,500,000 (税別)



エステイクスのプリアンプCalypsoはもちろん、すべてのプリアンプの性能をフルに引き出すハイブリッドパワーアンプの登場です。インプットステージに真空管、アウトプットステージにトランジスタを使用し、それをチョークインプットトランスを用いた安定感抜群のEコアの電源トランスで確実にドライブ。エステイクスの設計理念である、電源部の充実、信号経路の短縮化、高品質パーツの採用、機械的構造の強化などを忠実に追求した渾身のパワーアンプです。

【回路部の特徴】

■フルバランス・ゼロフィードバック回路を採用。インプットステージに6SN7の真空管を使用し、アウトプットステージにはバイポーラ型のトランジスタを用いたハイブリッド方式で、両者の優れた点を引き出すことに成功しています。インプットステージの真空管が高調波の質感や音色を損なわずに扱えるのに対し、アウトプットステージのバイポーラ型トランジスタは低歪率で低インピーダンスのスピーカーを確実にコントロールします。

■入力切替、ミュートなどの各コントロール回路は、マイクロプロセッサによって制御されています。このプロセッサ回路は操作時のみ動作し、通常は回路自体が全く動作しないため、再生音に影響をあたえる心配は皆無です。

【電源部の特徴】

■重量が20kgにもなる電源部には真空管用に1つ、トランジスタ用に2つの全部で3つのチョークインプットトランスを贅沢に使用。電源の安定度を飛躍的に高め、電源部の寿命を延ばすことに貢献しています。

■電源トランスは音質重視の観点からEコアを採用しており、それらをステンレスカバーに密閉させることにより、電源部に起因するノイズ成分をオーディオ回路に寄せつけません。

【その他の特徴】

■スタンバイモードを搭載。スタンバイモードでは真空管以外のすべてのソリッドステート回路は動作しています。そのため、電源を入れた瞬間から常に良い音質で楽しむことができます。また真空管の寿命を延ばします。

■異常発熱、DCオフセット、ヒューズ切れなどの情報をフロントディスプレイで表示します。

■筐体は美しいヘアーライン仕上げのシャーシとサイドパネルからなる合理的な構造。強固な筐体を実現しています。

Atlas Specifications

■ 入力	シングルエンド(RCA) × 1またはバランス(XLR) × 1
■ 入力インピーダンス	530kΩ
■ 出力	200W(8Ω)、400W(4Ω)
■ 再生周波数	+/-0.1dB, 20Hz~20kHz
■ 最大消費電力	800W
■ 最大外形寸法・重量	455(W) × 460(D) × 191(H)mm 33kg

Cartridge Demagnetizer

ABCD-1

MCカートリッジ・ディマグネタイザー

¥ 38,000 (税別)



最高のアナログ再生のために、高価なMC型カートリッジの針先をクリーニングし、大切なディスクのほこりを取り除き万全を期して針を降ろしたはずなのに、なぜか再生音に濁りが感じられる。そうです。最高のアナログ再生のためにはもう一つ、やらねばならない大切なことがあります。それはカートリッジやフォノケーブルの消磁。これらは使用するたびに、ごく僅かずつですが確実に磁気を帯び再生音を劣化させてゆくののです。ABCD-1はこのやっかいな磁気を除去する、アナログピックアップ専用の消磁器。最高のアナログ再生にとって、計り知れない威力を発揮するものです。

■MC型カートリッジの出力信号は、最大でも1ミリボルトに満たないような微弱なものです。アナログ再生の大切な音楽情報は、その微弱な信号のデリケートな変化としてカートリッジのコイルに発生し、微弱なまま信号ケーブルを通じてアンプに届けられるわけです。したがって、もし、このコイルやケーブルが僅かでも帯磁していたとしたら、もはや、クリアーで美しい再生音は望むべくもなくなるのです。

■本機に、MC型カートリッジを装着したアナログプレーヤーの出力ケーブルを接続し、スイッチをONするだけで、カートリッジのコイルノットーム内のリード線ノプレーヤーの出力ケーブルなどに帯磁した磁気を速やかに除去し、クリアーな音質をよみがえらせます。

■本機からは高周波のピュアなサインウェーブが、ゼロから最大値までゆるやかに送り込まれ、そのまま数秒間たもたれた後、信号はゆるやかにゼロレベルまで減衰。この僅か数十秒の操作で帯磁していた磁気が乱れなく消磁されます。

■消磁操作は、通常L/R両チャンネルの出力ケーブルを同時に接続した、1度だけの消磁で十分な効果が得られますが、場合によっては片チャンネルずつ消磁したほうが、より大きな効果上がることもあり得ます。また、消磁を何度かくり返すことでより効果が上がるケースもありますので、システムの環境に応じていろいろお試しください。

■有害な帯磁は気付かぬうちに少しずつ蓄積されるので、音質劣化など感じる前に、本機による週に1回程度の定期的な消磁をおこなうことで、常に最高の音質が約束されます。